

令和 6 年第 2 回 JCHO 船橋中央病院地域協議会議事録

日 時：令和 7 年 3 月 5 日（水）15:00～16:00

場 所：本館 3 階会議室

進 行：郷地 英二（副院長）

出席者：【外部委員】

高橋 日出男	船橋市健康福祉局健康部 部長
梶原 崇弘	船橋医師会 副会長
茂木 健司	船橋市立医療センター 院長
倉部 佐和子	利用者代表

【船橋中央病院委員】

山口 武人	院長
郷地 英二	副院長
深澤 元晴	副院長
大塚 恭寛	副院長
山北 真一郎	事務部長

合計 9 人（Web 参加 3 名）

Observer：原田副看護部長、田中看護師長（患者サポートセンター）、原総務企画課長
佐藤経理課長、矢作医事課長

欠席者：開保津看護部長

書 記：中山総務企画課長補佐

1. 開会（郷地副院長）

JCHO 船橋中央病院地域協議会設置要綱の説明及び委員の紹介。

2. 院長挨拶（山口院長）

令和 6 年度第 2 回地域協議会に御参加いただきありがとうございます。

どの病院も同様と存じますが、当院も経営が厳しく油断をすると患者様が減ってしまう状況であり、病院経営は非常に難しく思う昨今であります。また、最近に限ったことではありませんが、多くの患者様を当院に御紹介頂いており、救急要請も非常に増えている状況であり、職員には積極的な受入れをお願いしているところです。当院は、地域医療に貢献する使命もありますので、今後も引き続き積極的に救急患者様・紹介患者様を受入れ、病院経営が向上するよう頑張っていきたいと思っております。本日は、それぞれの病院事情や当院の経営事情を協議して頂く会となりますので、様々な意見を賜ればと思っておりますので、宜しくお願い致します。

3. 過去開催における委員からのご意見及び対応状況について（山北事務部長）

令和 6 年 3 月 28 日開催の地域協議会において、船橋市より病院移転建替え時において、周産期センターの維持と小児病棟の再開をお願いしたいとの要望がございましたが、小児病棟の再開にあつては、経営面や医師確保の観点から厳しい状況であり、船橋市の意向も踏まえ、改めて本部と協議・検討していきたい。

（高橋委員）

昨年 9 月に地域協議会委員として山口院長あて病院移転に伴う市民からの意見文書を送付させていただいた。委員の皆様にご意見を共有したい。病院が移転する場合、現船橋中央病院の近隣にお住まいの市民より、新病院までの距離が遠くなってしまうとの不安の声が上がっており、移転後は、巡回送迎バスなど移動手段を確保するなど、提案をしたところだが、可能であれば、現時点での病院のお考えを教えてください。

（山口院長）

ご要望があることは承知している。現段階では、移転時期が決定していないため、今後、詳細な内容を検討する必要がある。近隣の方々においては、当院を受診頂いている患者様には、ご不便のない様、今後の新病院構想の中で検討していきたい。特に、移動手段は重要なことだと考えており、例えば、駅周辺を巡回するなど、船橋市にも御相談させて頂くことになるかもしれませんので、その節は宜しくお願いします。

4. 令和 6 年度の収支状況について（山北事務部長）

令和 6 年度の年度収支について、配布資料を基に説明。

5. 令和 7 年度の病院目標について（山北事務部長）

令和 7 年度の病院目標について、配布資料を基に説明。

6. 意見交換

（茂木委員）

いくつか質問させていただきます。

今年度の収支状況のグラフについて、7 月より経常収支が黒字となり、12 月には黒字が増加しており、非常に素晴らしい状況ですが、健康管理センターの収益も計上されているのか。

（山北事務部長）

健康管理センター収益も含めた収支となります。12 月の収支について、当法人は 6 月と 12 月が賞与支給月となり、収支が悪いと賞与が減額される制度となっており、支給月数を減額したため、引当金を一部繰り戻したため増加したように見えるが、実際には半分くらいの収支である。

（茂木委員）

材料費の交渉について、材料費を下げる交渉をしているとの説明があつたが、専門的な事務官が在籍しているのか、もしくは院長先生などが直接交渉しているか。

(山北事務部長)

基本的な調達については、入札を実施している。その後、価格交渉を行います。また、過去の価格状況や他の JCHO 病院での実績情報も入手出来ますので、業者に示しながら価格交渉を行っているところです。しかし、最近では値上げを止めることが精一杯であり、食材については大きな問題となっている。特に、お米については報道されている通り、2 倍近く価格が高騰しているため、安く仕入れる方法があればと考えているところです。

(茂木委員)

JCHO グループで、まとめて購入など行っているか。

(山北事務部長)

以前、医薬品については JCHO 内で共同購入を行っていたが、医薬品卸業者間で談合などがあったため近年は病院単位での調達を行っています。診療材料については、国立大学病院・東京都立病院機構・JCHO の 3 団体で共同購入を行っており、コストの削減に努めている。

(茂木委員)

近隣施設の訪問について質問したい。訪問時、医師が 50% 同行されているが、医師が同行しない場合、専門の職員が同行されるのか。

(田中看護師長)

医師が同行しない場合、看護師長（患者サポートセンター）の私が一人で訪問したり、担当病棟看護師長が同行することもあり、関連施設や地域包括支援センターなどに出向いている。

(茂木委員)

クリニック訪問などは、アポイント後に訪問しているのか。

(田中看護師長)

全て、アポイントを取って訪問している。

(茂木委員)

転倒防止について、質問したい。レベル 3a 以上の事案が多く見受けられるが、3a 症例は頭部打撲等で頭部 CT を取った症例か。

(郷地委員)

そのような症例です。3a なので、何かしらの観察が必要であったものと思われる。

(茂木委員)

転倒については、当院でも特に注意を払っているが、転倒防止について特別な対応をされているか。

(原田副看護部長)

リスクが高い患者様には、離床センサーや病室監視用カメラをナースコールと連動させる等、早期発見・対応に努めている。また、夜間や休日は、看護配置が減少するため、病室への訪問頻度を増やししながら転倒を減らす取組みを行っている。

(茂木委員)

次に質問ですが、看護師の特定行為にかかる補助制度はあるか。

(原田副看護部長)

受講費用は病院で負担している。研修は定期的に設けて、勤務扱いで研修を受講出来るよう

勤務を組んでいる。

(茂木委員)

病院側で受講費用を負担して、資格を取得した後、離職を予防する対策を行っているか。

(原田副看護部長)

当院では、幸いにして資格取得後、すぐに離職する者はいない状況です。なお、受講前には、委員会で活動をしてもらう等、病院側の意向を具体的に伝えている。

(茂木委員)

今後は、各種学会主導で特定行為研修修了看護師の配置基準等が示される運用が開始されることから、当院でも積極的に取得させたいと考えている。

次の質問ですが、電子処方箋を4月から始めることで、運用開始の準備しているところだが、関係施設の状況も見ながら始める予定です。また、電子処方箋の運用を始めるにあたり、かなりの費用がかかっていると思うが如何か。

(佐藤経理課長)

それなりに大きな費用がかかっているが、JCHO 本部より一部補助が受けられるため、当院でも進めているところです。

(茂木委員)

JCHO 本部が進めているので、補助が受けられることはとても良い。

最後に、情報セキュリティーについて、以前、当院でも FAX の誤送信で問題が発生している。土日等休日に、急遽 F A X を送信する場合は、日当直の医師が FAX 送信をしており非常に心配しているが、貴院では事務官が送信する等ルールが決まっているか。

(原総務課長)

時間外の日中時間帯は、病院の事務職員が常駐しているため、事務員が送信している。また、夜間の場合は、受付業務を警備会社に委託しているが、当該委託会社事務員が常駐しているため、当該事務員が F A X を送信している。しかし、当院でも情報セキュリティーインシデントが多く発生しており、本部指導のもと F A X 送信マニュアルを作成し、誤送信の防止に努めている。

(高橋委員)

最後に2点質問があります。

地域包括ケア病棟におけるレスパイト入院の推進について、高齢者の総合相談窓口となる地域包括支援センターからの直接的な相談実績はあるか。

(田中看護師長)

地域包括支援センターからの依頼は過去にあった。地域包括支援センターを訪問させて頂き、地域包括ケア病棟の御案内をしている状況です。当院の地域包括ケア病棟の活用について、認識のずれがあるため、現在の活用状況をお伝えしながら推進している。

(高橋委員)

利用を希望する方が、利用出来るまでの最短の日数を伺いたい。

(田中看護師長)

地域包括支援センターからの要請であったか定かでないが、レスパイトの緊急依頼があった

ケースで平日の早い時間に依頼があり、当日の夕方までには入院頂いたケースが数例ある。
(高橋委員)

周産期母子医療センター機能について、2日前に東葛南部の地域医療調整会議があり、令和5年度の医療提供の状況報告があった。船橋中央病院においては、1500g未満の新生児の分娩取扱い件数や新生児救急搬送の受け入れ件数は東葛南部医療圏において、最も多く対応頂いていることを確認した。今後も、周産期母子医療センターの機能を維持して頂きたくお礼を兼ねまして挨拶させていただきます。いつもありがとうございます。

6.閉会（郷地副院長）

閉会のあいさつ。

以上